

日本歯科技工士会会長 森野 隆 講演

## 1 部：「私の考える歯科技工士の過去・現在・未来」

2022 年 4 月 1 日に歯科技工士法施行規則の一部が改正され、歯科技工におけるリモートワークが解禁された。また、歯科技工のデジタル化が急速に進み、業務の効率化が促進されている。

しかし、厚生労働省の「歯科技工士の養成・確保に関する検討会」報告書によると、歯科技工士の現状は、就業歯科技工士数が近年微減傾向にある一方で、就業歯科技工士のうち 50 歳以上の割合は増加傾向にあるとの記述がある。

少子高齢化社会の日本では、総人口が減少しても高齢者の人口は大きく変わらないとの予測も出ており、デジタル化などによる歯科技工士の業務の効率化が進んでも、歯科技工士は今後も必要な職種であることに間違いはないだろう。

今回は、厚生労働省が行っている「衛生行政報告例」などから歯科技工士の過去から現在を分析し、歯科技工士のとりまく現状や課題を考えた後、歯科技工士の未来に関して、今後の歯科医療の動向や急速に進んでいるデジタル化等の歯科技工技術の進歩も予測しながら歯科技工士の未来を考察したいと思う。

## 2 部：「共に語ろう！歯科技工士のこれから」

1 部で挙げた歯科技工士の現状や課題を踏まえて、歯科技工士のこれからに関して、受講者の皆さんとともに意見交換を行いたい。